

映画「40万冊の図書」の監督に聞く ～疎開させ空襲から本を守った事跡を追う

映画監督、金高賢二氏は昨年12月「40万冊の図書～戦争中“本”を守った人たちがいた」という94分のドキュメンタリーを発表しました。

迫る空襲被災を予想し、1943年、都立日比谷図書館で、多西村（現あきる野市）や埼玉県志木市に蔵書の疎開が行なわれました。翌年には新館長中田邦造を中心に、民間の学者・蔵書家の所有する古典籍・貴重文献を都費で買い上げ避難させる事業が始まります。40万冊と云われる図書が、こうして45年5月の日比谷図書館炎上の前に救われたのです。

映画は、この事業に動員され大八車やリュックで本を運んだ元都立1中（現日比谷高校）生の証言や、あきる野市に現存する（本を収めた）土蔵や関係者を発掘します。壮年者は兵隊に取られ交通も制約され空襲も始まる困難な時期に、都政内を動かし蔵書家を説得し、本を集め運搬し、後世に残した前代未聞の事業でした。

当日はスチール映像を紹介していただきながら、手弁当でこの事跡を追った金高監督の問題意識や想いを伺います。映画には震災後の三陸・福島 of 図書館、戦禍の中東の図書館等も出てきますが、遠い過去の事跡だけではありません。監督の想いに啓発されながら、一緒に考えていきたいと思えます。どうぞお集まりください。

2月16日（土）午後2時～4時30分

講師：金高謙二氏（映画監督）

会場：八王子クリエイトホール 11階視聴覚室

（JR八王子駅北口4分・八王子市生涯学習センター図書館のいる建物）

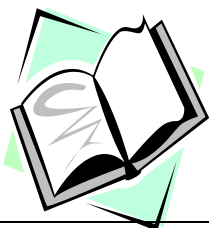
八王子市東町5-6 TEL：042-648-2231

参加費：500円 定員：50人先着順（事前申し込み優先）

申し込みはメールかFAXで

主催：NPO法人共同保存図書館・多摩

—NPOの会員でなくても、どなたでも参加できます—



金高謙二監督プロフィール

東京都江戸川区生まれ

主な作品「ある同姓同名者からの手紙」

「パーフェクト9～ある障害者野球チームの記録～」

「新撰組・誠に生きた多摩の剣士たち」

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩 〒182-0011 調布市深大寺北町1-31-18

●HP：<http://www.tamadepo.org/> ●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX：042-484-3945（不在が多いので、留守番電話かFAXで）